


平成31年度 都立学校・学校経営シート

校章	 都立調布特別支援学校		知的障害	基	通学区域	調布市・三鷹市・狛江市	
	『地域』に生き、ともに伸びる学校				本	進路実績	府中けやきの森学園知的障害教育部門高等部
基	所在地	〒 182-0021 調布市調布ヶ丘一丁目1番2	電話番号	042-487-7221		情	教育課程の特徴
	アクセス	(1) 京王線調布駅中央口 徒歩10分 (2) (3)		② 家庭や地域と連携し、子供たちを育てていく学校			
本	設置学部	小学部、中学部		報	副籍実施状況	平成30年度55%(直接的交流39人、間接的交流43人)	
	幼児・児童生徒数	154名(小学部96名、中学部58名)				学校評価	回収率(保護者100%、教員100%) 保護者満足度86%、地域の肯定評価88%
情	学級数	35学級(小学部22学級、中学部13学級)		ホームページ	http://www.chofu-sh.metro.tokyo.jp/		
	スクールバス	中型バス5台					
報	その他	H30～特別支援学級の専門性向上事業 H29～31知的や発達に課題のある児童・生徒への指導方法の開発研究指定校					

目指す学校 時代や社会の変化に対応し、地域社会とともに、そして地域社会の中で、その人らしく生き生きと生活していく児童・生徒を育成する学校

今年度の重点目標		今年度の取組と自己評価	
目標①	相互研さんに基づく指導力の向上と教育内容や方法の充実 ア 個に応じた指導の充実と個々の教員の指導力の向上 イ 新学習指導要領の実施に向けた教育課程の研究・開発 ウ 外部専門員等を活用した研修の充実と授業改善への活用 エ 「学校2020レガシー」の構築に向けたオリンピック・パラリンピック教育の推進	・全教員が研究授業を行い、授業研究シートを活用した協議会を行った。また、月1回外部専門員を招いての研究会を実施し、指導力の向上を図った。(研究授業実施回数92回) ・新学習指導要領全面実施に向けて、講師を招いての研究会を行い理解を深めた。教育課程の見直しを行い、令和2年度から中学部において「職業・家庭」を導入することとした。 ・外部専門員を活用し「国語・算数、数学」の改善を実施し、その成果を公開研究会にて発表した。 ・講師を招いての車いすバスケットボール体験や、オリパラ給食の実施、介護施設等との交流等を計画的に実施することができた。	
目標②	地域における特別支援教育のセンター的機能の拡充と共生社会の実現 ア 専門性向上プロジェクト等を活用したセンター的機能の拡充 イ 「副籍ガイドブック」に基づいた副籍制度の活用と副籍交流の充実 ウ 特別支援教育コーディネーターを中心とした巡回相談等相談業務の推進	・専門性向上プロジェクトとして、調布市・三鷹市の特別支援学級等に対し、授業観察と助言を実施した。また、教育委員会と連携し、特別支援学校で使用する教材等についての紹介や、新規採用教員等への実地研修を行った。 ・副籍交流は、直接交流小学部39名、中学部7名の計46名、間接交流小学部24名、中学部14名の計38名実施した。引き続き、地域指定校への働きかけや、保護者への適切な情報発信を行ってきたい。 ・学区の3市と連携し、相談業務を円滑にすすめることができた。学校公開では、コーディネーターを中心に質問・相談コーナーを設け、個々の実情に応じた相談を行えるように改善を図った。	
目標③	ライフ・ワーク・バランスを重視した働き方改革の推進とサービスの厳正 ア 法令等に基づく教職員のサービスの厳正 イ 業務の合理化・効率化と超過勤務の縮減 ウ 快適な執務環境の整備による教職員の健康推進	・月に1回服務事故防止研修を実施し、教職員のサービスの厳正を図った。 ・業務の合理化に向けて、会議の精選と時間短縮、メール等の活用による打合せの効率化、定時退庁日の設定を行った。引き続き業務の合理化・効率化を実施し超過勤務の縮減を図っていく。 ・校内美化委員会を新たに立ち上げ、校内掲示物のルール化、教材室の整備、不要物の撤去を行った。引き続き環境整備に努めるとともに、経営企画室と連携し、計画的な校内整備をすすめていく。	

数値目標	今年度の数値目標の内容	28年度		29年度		30年度		今年度		32年度	33年度	34年度
		目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	目標	目標
目標①	研究授業の実施回数	70	77	70	80	70	85	70	92	70	70	70
目標②	センター的機能を発揮した支援の実施	-	-	-	-	-	-	10	11			
目標③	完全定時退庁日の実施	-	-	-	-	-	-	12	12			

